

第 25 回広島県吹奏楽指導者セミナーレポート

5月13日(土)～14日(日)に開催した広島県吹奏楽指導者セミナーの様子をご報告します。

5月13日(土)

講座Ⅰ「バンドの初期指導」「基礎合奏の紹介」 ご案内役 古土井 正巳 先生

モデルバンド 広島ディレクターズバンド

今回初の試みとなる、県内の吹奏楽指導者の先生方で結成した広島ディレクターズバンドをモデルバンドとして、広島県吹奏楽連盟理事長 古土井 正巳先生に基礎合奏の紹介をしていただきました。

教材として「合奏の芽(ブレンミュージック)」より“ロンドン橋”を使用しました。

イギリスの民謡「ロンドン橋落ちた」を主題にした変奏曲で、2拍子→3拍子→4拍子→8分の6拍子と拍子が変わっていくので、様々な曲の基礎練習として有効です。

講習当日の朝に楽譜を配布しましたが、さすが指導者の皆さん、初見から素敵な演奏でした。ハーモニーの組み立て方、音型の工夫やアーティキュレーションなど、演奏の基本的な合わせ方を紹介しました。

PTA総会や体育祭等の学校行事と重なってしまい、ご参加いただけなかった方も多く少人数のバンドとなりましたが、それぞれのパートの音が聴こえるため音の重ね方がわかりやすくご紹介できたのではないかと思います。

初結成の広島ディレクターズバンドの皆さんです



奏者・会場の皆さんで意見を交換しながら合奏を進めました



講座Ⅱ「指揮者クリニック①」はじめての指揮 講師 井上 智子 先生

モデルバンド 広島ディレクターズバンド

午後からは指揮者の井上 智子 先生をお招きしました。会場の皆さん全員にステージに上がっていただき、奏者の位置で指揮法を学びました。皆さん交代で“ロンドン橋”の指揮を振っていただき、1人1人にご指導いただきました。ステージ上の皆さんも一緒に指揮を振りながら、アットホームな参加型の講習でした。

指揮法の基礎から、表情での奏者への伝え方など、大学の学指揮の方から、コンクール県代表常連の先生まで、幅広いご指導をいただきました。

講座Ⅲ「指揮者クリニック②」指揮者の心得 講師 井上 智子 先生

モデルバンド 広島ディレクターズバンド

休憩を挟んで引き続き井上先生に指揮者の心得と称してお話していただきました。

聴講の皆さんもステージ上にいらっしゃるため、質問もしやすく指揮者の衣装についてなど、様々な意見交換ができました。女性指揮者目線からのお話など、吹奏楽部顧問になって日が浅い先生にも参考になることが多かったのではないのでしょうか。

その後も引き続き交代で指揮を振っていただきました。ディレクターズバンドのメンバーも楽器を置いて指揮台に立ち、指導を受けることができました。

13日(土)参加者からの感想を一部ご紹介します。

「楽しく学びました。ハーモニーのバランス 根音、5音、3音のそれぞれの大切さがわかりました。」

「楽器ごとの特徴やもう一度くわしく基礎合奏について教えてもらえたらうれしいです。」

「演奏かっこよかったです！音のバランスのととのえ方がよくわかりました。」

「1つ上のテーマであり参加した生徒に少しむずかしかったかも。大変だと思いますが学生にモデルバンドをして頂けたら臨む姿勢なども好影響になると思う。」

「実際に自分が振ることで得るものがあつたので参加型という形はとても勉強になりました。」

「講習者をステージに上げたことで指導を受けやすい雰囲気になったと思います。なごやかでよかったと思います。参観日やPTA総会が重なって参加者が少なかったのは残念でした。」

「本当にありがとうございました！参加型ありがたいです！スーツのことなど超基本のことを教えて頂きありがとうございました。これから初主顧問がんばります！」

「本日はとても深い学びができました。お忙しい中、ありがとうございました。」

「実際に指揮をすることで自身の指揮の課題が見つかりました。ありがとうございました。」

ディレクターズバンドメンバーからの感想

「奏者としても指揮者としても本当に勉強になりました！あまり指揮の正しい振り方を話す機会がなく、不安でしたが、どういう考えをもって振るのかを共有出来て、素敵な時間を過ごすことができました！」

「たくさんの方が指揮体験に手を挙げられ、とても充実した講座になったと思います。私自身も多くを学べる時間となりました。古土井先生のスコアリーディングの事前準備に感服するとともに、連盟の皆様のご尽力に感謝申し上げます。」

「今回の形式は、指導を受ける側にとっても参加しやすい（敷居が高くない）のではないかと感じた。」

「指導者が一堂に会して演奏することで、広島県吹連に一体感が生まれたような気がしました。演奏する事を通して、同じ悩みを共有したり、新たな課題を見つけたりすることができました。何よりも、とても楽しい時間を過ごすことができました。改めて吹奏楽って良いなあと実感することができました。ありがとうございました。」

「いろんな先生方と演奏することができ、とても楽しかったですし、仲良くなれた気がします。また、雰囲気ごとく

も優しく、いろんな質問をすることができたので、今後も続いて欲しいと思いました。」

「実際に演奏しながら指導を受けることで、生徒がどのように感じているのかを考えることができ、とても有意義な時間となりました。」

「はじめてのディレクターズバンド、とてもよかったと思います。もっと沢山の先生方で編成を大きくしてやってみたいです。」

「スコアリーディングの仕方や指揮法など大変勉強になりました。何より親睦が深まったのがよかったです。」

「指揮の講習会でバンドに対して、指揮を振ったことはありましたが、逆の立場は初めてでした。指揮者が求めようとするものに即座に応じて、演奏のニュアンスを変え、自分が気持ちよく思っている指揮に対しては他の皆さんも同じことを感じていて、たくさんのことを得られました。」

「アナリーゼについて、貴重な資料を見ながらお話を伺えたのはとても勉強になりました。このようなレクチャーの場をきっかけに音楽を分析する指導者が増えて、それが指揮や音楽づくりに繋がるといいんだろうなと思いつつ受講していました。」

「演奏方法の指導を受けたり指揮に合わせて演奏することを実感できたことがとても良かった。実際に演奏することでどのように意識したらより理想の音に近づけるかを体感することができた。今後生徒に伝える時に、具体的に口の形や息使いなどを指導したいと思う。」

今後もディレクターズバンドの活動を続けていければと考えております。

次回はさらにたくさんの皆さんのご参加をお待ちしています！

5月14日(日)

講座Ⅳ「課題曲クリニック①」講座Ⅴ「課題曲クリニック②」 ご案内役 大咲 司朗 先生

課題曲Ⅰ 行進曲「煌めきの朝」 牧野 圭吾

課題曲Ⅱ ポロネーズとアリア～吹奏楽のために～ 宮下 秀樹

課題曲Ⅲ レトロ 天野 正道

課題曲Ⅳ マーチ「ペガサスの夢」 水口 透

モデルバンド 広島県一般吹奏楽連盟合同バンド

2日目は課題曲クリニックです。モデルバンドは広島県一般吹奏楽連盟加盟の一般団体の合同バンドでした。

聴講の生徒たちはステージ上で自分の演奏する楽器の隣に座り、目を輝かせて聴いていました。

コンクールで演奏予定の学校の先生に指揮を振ってもらい、広島県吹奏楽連盟副理事長 大咲 司朗 先生に練習のコツなどを紹介していただきました。

特に「バンドのためのフレキシブルコーラル集3(ブレインミュージック)」を使用した練習が好評で、当日ブレイン株式会社の販売ブースに用意していた楽譜が完売となりました。

質問も受け付け、モデルバンドの奏者の方々に練習方法など参考になる意見をもらいました。事前申し込みの際に募集した質問事項にもひとつずつ回答し、課題曲Ⅳを小人数で演奏する実践など、会場参加型の講習となりました。

一般バンドの奏者に直接質問する生徒も続出し、今後の部活動地域移行の足掛けともなったのではないのでしょうか。大人の音を隣で聴いて質問できる機会は滅多にありませんので、貴重な経験になったと思います。

ご案内役 大咲 司朗先生より

初めての試みで、一般部門から応募してボランティア参加していただいた合同バンドのみなさんは、前日夜初めて顔合わせして1時間少々練習しました。講習の中で良くなっていくところをご覧いただきたいと思い、各課題曲の練習はあえて1回通すだけにとどめて本番に臨みました。それでも当日は、初めから素晴らしい演奏が続きました。さすが、大人は経験値が違いますね。課題曲講習ではありますが、前日の基本講座に参加が叶わなかったみなさんにも配慮し、昨今の練習時間短縮の中で基本的な合奏力をつける一助として、フレキシブルコラールの練習を紹介しましたが、みなさんの演奏が素晴らしかったこともあり、楽譜が飛ぶように売れたそうです。予めいただいた質問と、会場からの質問に、その場に居合わせた先生方や演奏メンバーのお知恵をお借りしながら講習を進めましたが、笑いあり、学びありの連続で、あっという間に時間が経って行きました。生徒さんに、ステージ上がっていいよ！と促すと、意外にも、多くの生徒さんが積極的にステージに上がり、自分の楽器の横に陣取りました。これがホントの聴講ですね。休憩時間には生徒さんが積極的に質問を浴びせていましたが、メンバーの皆さんは休憩時間返上で親切に対応してくださいました。クラブ活動の地域移行を垣間見た瞬間でした。夏のステージでは、きっと素晴らしいサウンドが響きわたることでしょう。私自身が一番勉強になり、元気をいただいた、、、そんな講習会でした。ありがとうございました。

14日(日)参加者の感想

「生徒たちが奏者さんのそばで聴き、休憩時間には質問などもさせてもらって良い経験をさせて頂きました。課題曲4曲勉強してご準備頂きありがとうございます。」

「大咲先生、バンドのみなさんありがとうございました。分かりやすく、疲れないように案内をしていただきあっという間に講座が済みました。ありがとうございます。人数が少ないバンドのパート配置について悩みます。」

「年に1度勉強になります。毎回『！』とためになることがあります。今回はPer. BDとCymを1人とするアイデア、自分のいる学校で費用かけずできそう。うれしい！」

「様々な練習方法を紹介して頂き、ありがとうございました。土曜日は学校行事のため参加できませんでした。(生徒は中間考査前日のため、日曜も参加できず)日曜日の講座で指揮法や基礎合奏指導を実施してほしいです。または開催時期をGW前にするとか…。日曜開催の生徒対象の基礎合奏講座や楽器ごとの奏法クリニック(一般バンドの奏者がゲストティーチャーになる)があれば助かります。」

「音楽がいいなあと思いました。とても人数が少ないけれど課題曲IVも工夫のできるのですね。勇気をもらいました。大咲先生の言葉、古土井先生の指導本当にためになりました。ありがとうございました。歌をとり入れてがんばります！」

広島県一般吹奏楽連盟合同バンドの皆さん、ありがとうございました！

来年度の指導者セミナーは令和6年5月11日(土)~12日(日)を予定しています。

ぜひご参加ください。内容についてのご意見もお待ちしております。